



# Sekison 通信

教育目標◇◇未来をひらく 石川の子◇◇

R6・1・12

NO, 24

文責：校長 酒井



## 81年前に思いを馳せて。伝説のピアノ再生計画 !

昨年12月21日の報道（町民ニュース）が先になってしまいましたので、改めて事の次第を…。  
夏休み後半、出張のため町の公民館の方と南会津町の会場へ向かう車中での話。

そういえば、中一小に展示してあった古いピアノはどうなっ  
たんですか？

あ〜、あのピアノですか、残念ながら処分されるようですよ。

えっ、処分ですか？たしか郡内で一番古いピアノでしたよね!?  
ずっと置いてはおけないし、処分してほしいと施設から連絡があ  
ったようです。

そうですか…



出張から戻り、どうしても胸のもやもやはとれず、仲介役を担っているという地区の自治センターに早速電話し事実確認。役場の企画商工課にも電話を入れると、直接施設の方と交渉してほしいとのこと。

廃校となった中一小が某高校の野球部の寮となり、有効活用されるようになってから5年は経つでしょうか。舎監を務めている責任者に連絡をすると、連絡をずっと待っていたのか、明るい返事が返ってきました。無用の長物に施設側も困っていたので、再度連絡することを約束し、何とか処分ぎりぎりのところで待っていただけになりました。

本校には複数台のピアノが置かれています。7校が統合したため、それぞれの学校から運ばれ、音楽室をはじめとし体育館にはグランドピアノとアップライトピアノが一台ずつ、校舎の各階にもそれぞれに設置され全て現役です。ですから、それらを調律する必要があります。調律は年に数台ずつ輪番で行っていますから、維持費もばかにはなりません。そこに、もう一台となると…、何も考えずに待ったをかけたが、移動にも経費がかかります。さてどうしたものか…、「学校のスタッフに伝えるのはもう少しあとにしよう。」と、心に誓った校長でした。(笑)

その後、学校経営に追われ対応を延ばし延ばしにしていました。(言い訳です。)すると、10月後半に企画商工課の課長さんから進捗具合の確認(催促)の電話が入ります。さてさて、いよいよ待ったなし、どうやって搬入すればよいものかしばし思案。と、ひらめいた、ひらめいた、早速、自らも所属する自称ボランティア団体「メンズクラブ」の会長に電話しました。すると、

いいんじゃない、みんな集まるでしょ、夕方から忘年会だからやっち  
やおう!

と、二つ返事で快諾をいただきました。そして当日は、なんと総勢9名がピアノ搬入のためだけに集まってくださいました。餅は餅屋で、レッカー車だけでなく下に敷く布団やコンパネも準備万端、搬入作業は1時間弱という短時間で終了。(無償で申し訳ありません)

年末、一階のエレベータ前の踊り場に鎮座したピアノは、その後自治センター長さんにご紹介いただいた調律師さんが、分解や修理もしてくださっています。経費は、町の企画商工課が予算をつけてくださる予定です。案ずるより産むが易しとは言ったもので、とんとん拍子で事が進んでいます。

今回、校長が勝手!?!に本校で譲り受けた伝説のピアノを改めて紹介します。



ピアノは、旧中谷第一小学校に代々大切に受け継がれてきたものです。昭和17年に、地区の方より寄贈されたもので、戦火の中、校庭もほとんどが食料確保のための畑だった時代に大勢の子ども達を笑顔にし、心を癒し続けたピアノです。沿革誌には、「昭和十七年十一月三日明治節ノ佳辰ノトシ坂路石井武司氏寄贈ノピアノ披露音楽會ヲ開催セリ」との記述がはっきりと残されています。寄贈額は当時の金額で2千円、現在のレートに直すと600万円超にもなるかと思えます。戦時中に開催されたお披露目の音楽會をどれだけ子ども達待ち望んでいたか、そして誇りに思ったかを考えると、処分されずに良かったなあと思つづく思います。ちなみに昭和17年は、現在の本宮（セブンイレブン周辺）も中一小学区でしたので、当時の児童数は450名を超えていました。

その後、新たなピアノの購入や本体の故障もあって、いつしか現役を退きます。それでも、昭和の終わりには児童會が中心となって、修理の聲が上がり募金運動も起こりました。しかし、全てが手作りですので、黒檀や象牙などの部品は、既に手に入り辛い貴重な物でした。残念ながら修繕計画は進まなかったといいます。長年、郡内で最も古いピアノとして子ども達に語り継がれ、後年は鍵盤に触れられることもなく、玄関前のスペースに、ひっそりと大切に展示されていました。

こんなに古いものは見たことがありません。わたしも相当長い間ピアノに携わってきていますが、おそらく県内にもないと思いますよ。

と、前出の調律師さんが、分解した沢山の部品の前で嬉しそうに説明してくださいました。

今回、全て当時のように復元することは叶いませんが、何とか演奏できるまでにはさせていただけることになりました。職人の血が騒ぐのでしょうか？すでに4度も足を運んでいただき、ペダルをピカピカに磨いていただいたり、複数の鍵盤を新品に代えて頂いたりしているのに、代金は当初の予定通りで構わないとのこと、ありがたいことです。

子ども達には後から詳しく説明しようと、そのままにしておいたのですが、運び入れた数日後、自らもピアノを習っているという5年生が声をかけてきました。

校長先生、うちのお婆ちゃんも、あのピアノで授業したそうです。

小学生の時？へえ～そうなんだ。じゃあお婆ちゃんを招待して、演奏してあげたら喜ぶだろうね。

と、いうことで現在81年ぶりの「音楽會」を計画中です。修繕完了までにはもう少しばかり時間が必要ですので、その日までピカピカに磨いておこうと思います。また、既に本校専属！？ピアニスト数名にオファー済みです。（こちらは快諾とならず、返答待ちであることを申し添えます。）何れにしましても乞うご期待ください。

石小は、今年創立10年を迎えます。旧石川小、沢田小、母畑小、中谷一小、中谷二小、山形小、南山形小の7校が一つとなった新しい学校ですが、統合以前から続いてきた地域の多くの人々の願いや思いを大切にしながら続ける学校でありたいと思います。再生したピアノの音色と一緒に、古の人々の思いを皆で受け止めたいと思います。



今回、快くご協力くださいました、町公民館、中谷自治センター、メンズクラブの皆様、町企画商工課、調律師さんに感謝申し上げます。そして、文字通り伝説のピアノが弾き（引き）合わせてくださった、たくさんの優しさのご縁に心より感謝いたします。

**ピアノに関する、当時の授業の様子やエピソードなどお持ちの保護者(祖父母)様がおりましたら、どうかお聞かせください。**

※ 参考及び引用文献：中谷第一小学校沿革誌・中谷第一小閉校記念誌・町民ニュース21236号